

令和5年度 地球温暖化防止に貢献する ブルーカーボンの役割に関する検討会概要

■ 温室効果ガスインベントリ報告について

2023年4月のインベントリ報告において、ブルーカーボン生態系のうちマングローブによるCO₂吸収量として、2300トン进行計上した。

2024年4月提出予定のインベントリ報告において、藻場(海草・海藻)によるCO₂吸収量の計上を目指し、その方法論について報告された。

■ 「命を育むブルーインフラ拡大プロジェクト」の推進

令和5年度に設立された全国海の再生・ブルーインフラ賞の取組状況や授賞式の実施について報告された。

港湾カーボンニュートラル普及促進試行工事の実施状況について報告された。

ブルーカーボン高精度データ把握・管理システムの将来的な運用に向け、本検討会の下に計測作業仕様書検討ワーキンググループを設立することとなった。

■ Jブルークレジット制度

令和5年度の認証状況、取引状況について報告があった(29件、認証量2170.3トン CO₂、認証面積1683.1ha)。また、購入企業へのアンケート調査結果について報告された。